

【資料4】 新たな実証事業について

～加工食品分野におけるトラック予約受付システム
使用率向上について～

- 平成29年7月に実施した荷待ち時間実態調査において、30分以上の荷待ち時間が生じた件数が多い品目（加工食品、建設資材、紙・パルプ）について懇談会を立ち上げて、課題整理や改善策について検討を行い、その結果を踏まえて品目ごとのガイドラインを策定（令和2年5月公表）。
- **加工食品、建設資材、紙・パルプの各品目については、ガイドラインにおいて示した今後の取組の方向性に沿って、引き続き課題解決のための方策について検討・検証を実施する。**
- また、平成29年7月及び平成30年11月に実施した荷待ち時間の実態調査において、荷待ち時間が生じた件数が多かった「生鮮食品」及び「飲料、酒」について、課題整理や改善策の検討を実施する。

加工食品分野における今後の取組みの方向性（抜粋）

- 本ガイドラインは、「ホワイト物流」推進運動セミナー、「トラック輸送における取引環境・労働時間改善地方協議会」等を通じた周知を図っていくことはもとより、荷主所管省庁等と連携して関係業界団体や個別企業へも周知を行う。
- また、**今年度実証実験において物流効率化に資すると認められた取組みの中で深度化が必要なものや、関係者との調整により今年度実証実験の実施にまで至らなかった取組み等については、引き続き実証実験等を行う。**

1. 実証事業の概要

・令和元年度「加工食品物流における生産性向上及びトラックドライバーの労働時間改善に関する近畿地方懇談会」アドバンス事業における実施結果を踏まえ、実運送による予約システム導入による検証及び実運送事業者のトラックドライバーの拘束時間、業務効率化の検証並びに予約システム使用率向上のための取り組みを実証事業として行う。

2. 予約システム導入後の状況

○荷待ち時間の現状(予約システムを使用した場合、しない場合)

・使用した場合：1時間前後　使用しない場合：1時間30分前後 ※繁忙期除く

・予約をして頂く納品業者様は、予約を入れ、その時間に到着する事で荷待ち時間が無くなる事を理解している為、継続予約頂いている。

○予約システムの使用状況(使用率等)

・通常期 約15%　最大 約20%

○予約システムの問題点、課題

予約をする事で到着時間が制約され、その時間に到着できるかどうかドライバーのプレッシャーになっており、使用率(予約率)が上がらない。

3. 実証事業の内容

○トラック予約受付システム導入による拘束時間短縮効果及び輸送の効率化の検証

・本事業における着荷主である大阪市住之江区に所在する量販センター(2カ所)の運營業務を加工食品卸売事業者が受託している。

・量販センターでは、令和2年10月にトラック予約受付システムを導入したことから、予約システムを使用している事業者が量販センターでの待機時間の短縮効果により、ドライバーの拘束時間の短縮、輸送の効率化の状況を検証する。

○トラック予約受付システムの使用率向上による待機時間短縮についての実証事業

・予約システムに係る問題点、課題等を調査したうえで、予約システムの使用率向上のための取り組みの方向性を検討し、関係者が協力して予約システムの使用率向上することでどのような効果が期待できるのかを実証事業を行う。